

事業名 到津の森公園整備事業

民間から引き継いだ動物園を「自然・動物・人にやさしい施設づくり」をテーマに市民と自然を結ぶ「窓口」となる公園として整備

受賞機関 北九州市建設局公園緑地部
公園管理課
北九州市建設局公園緑地部
公園建設課

事業実施期間 平成12年3月16日～平成14年3月31日

事業費 3,110百万円

事業等の特徴

動物園を公園とともに再整備した。環境教育等も重視し、レクリエーションを通じて環境を考える市民との窓口を目指している。このため、市民が参加する多くの工夫を講じており、例えば、公園基金、サポーター、友の会制度、ボランティアなど、市民が支える公園としている。公園の内容にも、林床、樹冠など、環境を考えるためのテーマを取り入れている。

事業の概要と利用者等の評価

「市民と自然を結ぶ『窓口』となる公園」を基本理念として、豊かな緑や動物とのふれあい、レクリエーションなどを通じて環境問題を考えるきっかけ



全体平面図

[窓口]となる公園を目指している。

また、「自然・動物・人にそれぞれやさしい」施設づくりを目指し、既存の樹



草原の世界

林地を最大限残すとともに生息地の自然環境と動物が一体となった生態展示手法を採用し、檻やコンクリートで囲まれた以前の動物園よりも、より自然に近い動物の姿を観察できる展示空間や園内景観の創出に努めた。

また、園路はできるだけ緩勾配とし、誘導用の手すりを設けるなど、人にやさしい施設としてユニバーサルデザインに配慮した施設づくりを行った。

計画策定にあたって有識者による検討委員会の開催を報道機関に公開した。また、検討委員会の中間報告を受けたうえで、計画理念や、導入施設、展示動物について、50団体を超える市民団体の意見を聞く機会を設けるとともに、インターネット・FAX等により、市民の意見を受け付けた。

- 計画、設計及び施工のプロセスに対する評価
- ・計画段階より「市民が支える公園」と位置付け、開園前より、市民に対し支援・協力を呼びかけたが、これについて多くの賛同が得られた。
- 事業完了後、施設等に対する利用者等の評価（環境保全・回復等に対する評価も含む）
- ・緑に囲まれて動物がのびのびと生活している様子が伝わってきてよかった。
- ・動物が間近に観察できた。
- ・段差や急な坂が少なくなり、歩行がしやすくなった。

寄付、ボランティア人数などの実績も上がっているが、今後、環境教育の効果等の把握が望まれる。審査委員会委員の意見等

- ・動物園と一体となった公園整備という特殊な事業を、市民参加、アカウンタビリティの確保に十分意を尽くしつつ短期間に終了した事業推進手法、市民が支える公園という当初の理念実現のため基金造成、友の会制度の創設等のソフト施策を適切に実現した点が評価される。
- ・市民パワーの結集の仕方が大いに参考になる。新しい市民との協働プロジェクトの仕掛け方として評価できるし、モデル例となりうる。
- ・多くの住民からの要望を受け止め、動物園の展示方法を変え、さらに「自然・動物・人」にやさしい発想で公園整備も行き、レクリエーションの場だけでなく、環境教育の場も提供している。
- ・大きな意味で再利用であり、現在、官民共同事業のスタイルを模索している各地域にとっても参考例となるのではないだろうか。